

8. 日本展示館及びバックヤード、 屋外庭園

8- 1. 屋内出展概要

展示施設として屋内に広い空間が必要となることから、鉄骨構造を採用し、幅 10m、奥行き 20m の無柱空間を設計した。また、シャープに伸びる大型庇と大開口の連窓サッシは鉄骨構造で実現した。

展示空間は最大 4.5m の天井高を確保し、庭園と繋がる半屋外空間の天井高は 3 m とし、庭園との一体感が得られるヒューマンスケールな空間を設計。館内は冷房空調を整備し、切り花展示のため、約 20℃程度の温度管理が可能に。また、軒の深い大屋根を設けることで、夏の強い日差しや西日、春先の黄砂等の厳しい自然環境から展示施設を保護し、展示花きに直接日光が当たることなく展示することができた。



8- 2. 屋内出展施工スケジュール

開催地の北京市延慶区は冬季に 1 m の凍土となることを踏まえ、日本庭園造園施工業者と調整を行いスケジュールを策定した。

2018 年 7 月	基礎工事
2018 年 8 月	床スラブ、鉄骨建方工事
2018 年 9 ～ 10 月	外装・サッシ・屋根工事
2018 年 11 ～ 12 月	内装設備工事
2018 年 11 月	中間検査
2019 年 1 月	最終検査・引渡



8- 3. 事務所

日本展示館内に現地事務所用として約 50㎡のオフィススペースを確保した。常時約 10 名のスタッフ、出展者なども利用するため、事務デスクや会議スペース、ロッカー、ラック、冷蔵庫、給排水などの設備を設置した。



8- 4. ビニールハウス

コンテスト出品用花き、展示用花きを養生するため、バックヤードにビニールハウス1棟を設置した。通気性を考慮して、両サイドのシートが開口出来るものを選定した。また、ハウス内の温度上昇を抑える効果や直射日光を遮光するため、メッシュシートを張るなどの改造をした。

(サイズ：横6 m、縦10 m、高さ3 m)



8- 5. コンテナ

コンテスト出品用切り花、展示用切り花を保管するための保冷コンテナ(20 フィート) 1 基、また各種備品を収納するための資材用コンテナ(20 フィート) 2 基をバックヤードに設置した。夜間はコンテナ入口を施錠して盗難防止対策を行った。



8-6. 日本庭園整備

日本国出展 外構整備工事工程表(2018年7月～2019年4月)

項目	2018年(平成30年)								2019年(平成30年)				備考
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
準備工		6月工事着手										4月20日竣工	
基盤整備工													
植栽・修景工													
高中木													
修景植栽													
修景施設工													
施設整備工													
池・石組み													
園路広場工													
設備工													
給水・循環設備工													
雨水排水設備工													
電気設備工													

2017年11月

2018年6月～11月

2018年2月～4月

4月20日

測量・現地調達資材調査

第1期庭園整備工事（造成及び滝組、池、園路広場、高木植栽等基盤整備）

第2期庭園整備工事（灌木類等植栽、竹垣整備仕上げ作業）

竣工

日本庭園・工事進捗状況 前期工事終了

(2018年11月27日時点)



2018年5月下旬



2018年11月下旬



2018年9月上旬



2018年10月下旬



2018年5月下旬



2018年11月下旬



2018年9月上旬



2018年10月下旬

日本庭園竣工状況（2019年4月20日）



アプローチ園路修景



庭園（三段の滝と池）



池・州浜・アプローチ



アプローチと日本展示館

9. 屋内展示施工

日本庭園と建物の一体化により、自然を生活の中に取り込みながら育まれた日本の花き文化を効果的に演出する。庭園を背景にしたビスタ・アイストップを活用し、様々な視点場において日本の生活をイメージ出来る空間を設計した。

9- 1. 施工スケジュール

2019年2月の着工を目指し、設計、資材調達、現地工場での事前制作、日本からの資材輸送、現地施工のスケジュールを策定した。

2018年7月	基本設計
2018年8～9月	実施設計
2018年10～11月	現地資材調達調査
2019年2～3月	現地施工
2019年4月上旬	和室施工 (菊地合板木工(株)協賛)
2019年4月	検査・引渡

9- 2. メイン展示、いけばな展示等

メイン展示スタンド (約 40㎡)

花きの装飾展示を中心に展開し、農林水産物や観光など出展者のPRなど幅広く活用する場所として計画。政府出展テーマ展示や地方自治体、企業団体等が出展した。



いけばな展示スタンド (10㎡)

日本いけばな芸術協会の協力により、いけばなの魅力を会期期間中を通じて伝える場所として展示を行った。

今回、日本の化粧貼り集成材を使用した和室を、菊地合板木工(株)の協賛により設置した。



盆栽展示スタンド (約 10㎡)

盆栽に関する情報をまとめて紹介するコーナー。既に日本から中国へ輸出していた盆栽を展示するとともに、大宮盆栽美術館の盆栽に関する資料映像などを紹介した。



フラワーアレンジメントスタンド (約 10㎡)

日本フラワーデザイナー協会の協力により、日本から出品されたコンテスト花きや輸出促進PRの重点品目などを活用した日本のフラワーアレンジメントを紹介した。



花き展示スタンド（約 10㎡）

コンテスト出品花きや輸出促進 PR 用花きを展示した。知的財産権が保護されるようカメラの設置等により、盗難対策を行った。

**パフォーマンススタンド（約 35㎡）**

展示やワークショップ、イベントなど多目的に使用出来るスペースとして計画。子供たちへ花文化の紹介の場として、花育や各種交流イベントなどを実施。

**9- 3. 情報発信スタンド、商談コーナー、協賛展示コーナー等****情報発信スタンド（15㎡）**

基本的なハーディネスゾーンを用いて、日本の高度な育種技術と多様な気候風土が育む日本各地の花きを紹介するパネル・映像を紹介。

映像では、出品花きとその生産地を紹介する構成で都度更新編集を計画、実施した。

その他、2020 年東京オリンピック・パラリンピックや 2025 年大阪・関西博覧会、日本政府観光局、2027 年横浜国際園芸博覧会のポスターを展示した。

**商談コーナー（約 10㎡）**

来場者からのビジネスコンタクトがあった場合に利用する商談コーナーを設置した。全国輸出拡大協議会の展示期間中に数回の利用実績があった。

**協賛展示コーナー（約 5㎡）**

協賛者を紹介する展示コーナーとして設置。博覧会のテーマに関連した内容で、国土交通省、庭園出展実行委員会の協賛各社のパネルや映像を紹介した。

**インフォメーション（約 5㎡）**

日本展示館の紹介、より積極的な交流の窓口としてインフォメーションコーナーを設置し、案内のほかスタンプ押印なども行った。

